

## 香川・讃岐の山々を愉しむ



金毘羅神社境内からの讃岐平野と飯野山(讃岐富士)

### ① 飯野山(讃岐富士 442m)

以前から、石鎚山などに行く際、車や列車の車窓からその美しい山容が気になっていた山。その飯野山は讃岐富士とも呼ばれ、岩崎元郎氏が「新日本100名山」に選んでいる。

#### 典型的な郷土富士

「〇〇富士」の異名を持つ山は全国各地にある。かつて深田久弥氏によって100名山とされた山々の中にも利尻岳(利尻富士)、岩手山(南部富士)、羊蹄山(えぞ富士)、開門岳(薩摩富士)等々があり、奈良県でも額井岳(大和富士)、都祁野岳(都祁野富士)、外鎌山(朝倉富士)などがある。全国では、それこそ枚挙にいとまがない。

「郷土富士」「ふるさと富士」と呼ばれるこれらの山々は、姿が富士山に似ていることによる命名が多いが、この飯野山はその山容が富士山そっくりで美しいことで、ことに有名だ。

#### 讃岐平野にそびえる独立峰

11月29日、奈良県の自宅から電車を乗り継ぎ8時59分香川県JR丸亀駅着。駅前9時34分発のコミュニティバスで飯野山に向かう。登山口バス停で下車後、住宅街を抜けて登山口に。10時30分登山開始。



↑飯野山山頂で

幅のある登山道が緩やかに山腹を巻いて上っており、はじめは時計回りに、3合目でターンして、今度は反時計回りに頂上まで上っていく。

この山は全山樹木に覆われているが、所々に林の切れ間があり、麓にひろがる讃岐平野と周囲の山々、さらに瀬戸内海とそこに浮かぶ島々を一望できる。文字通り、平野の中にそびえる独立峰だ。11時40分頂上着。

#### 香川県民に愛される山

山頂広場にはお寺の奥社が建ち、テーブルやベンチで登山者たちが憩っている。今回の登山で、幾人かの人と会話をした。ほとんどが地元の人々であり、飯野山への愛着が強く感じられた。しばらく休憩後、往路を引き返して12時30分登山口に。



## 猫が多いのが気になる

今回、気になったのが山中の猫の多さ。地元の人に訊くと、ここで繁殖しているとのこと。ご承知のように猫は木登りもうまく、そのハンティング能力は高い。鳥の幼鳥などはひとたまりもあるまい。ネズミやトカゲなどの小動物にとっても脅威。この山の生態系に影響を与えないかと心配になった。

## ② さぬき金毘羅さん 1368 段の石段を昇る

翌 30 日 9 時 JR 琴平駅を出発。お土産屋さんや旅館の間を通過して参道階段の下に着く。開店準備中の店で「階段の少ない裏参道は」と訊くが、「そんなものは無い、せっかく来たんだから階段をしっかりと昇ってお参りしなはれ」との返事。

両膝人工関節の脚への不安が頭をよぎるが、腹を決めて階段昇りに挑戦。長い石段だが、程よい間隔で平坦な部分があり、また



各段の踏面(ふみづら)には滑り止めの刻みが入れている。途中 2 回の休憩を入れて奥社に到達。

## 神官さんに道を尋ねて

ところが社殿の後ろにそびえる象頭山(ぞうずさん)への登山口が見つからない。やむなく神社売店に尋ねると、神官服装の人が地図を持ってきて、「まだまだ長いですよ」と言いつつ、不通になっている箇所など丁寧に教えてくれた。礼を述べ、少し下って登山口を探していると、60 歳くらいの男性が寄ってきた。神官さんとの問答を聴いていたのか、「ここからは道らしい道ではなく、やめといたら」と真剣な口調での忠告。私の年恰好を見ての心配だろうが、話を最後まで聴いて丁寧に謝し、「決して無理はしませんから」と言って、足を踏み出した。



↑ 竜王社分岐の道標

## ③ 大麻山(おおさやま・616.5m)

入口も分かりずらく、道も確かに良くはないが、踏み跡は明瞭についており、その踏み跡をたどり、要所要所にあるテープを確認して進む。11 時 50 分やっと竜王社分岐に到着。明るい広場で道標とベンチがある。琴平山などを結ぶ稜線上にあり、右に行けば大麻山、左の道は象頭山に通じている。昼食を簡単に摂り、右に進むと広い道と合流。この道を昇っていくと、三角点があり、そばの木の枝に山名板がひっかけてある。12 時 30 分、大麻山山頂だ。ここでユーターンして南に向かう。



↑ 大麻山山頂の山名板

## ④ 象頭山(ぞうずさん・538m)

大麻山から南下する道は 10m 以上あるかと思われる広い草原状で、東側は金毘羅神社領らしい。この道幅なら山火事の際の防火帯にもなるのではないかと。そう思いつつ進むと、緩やかなピークに象頭山の山名板があった。13 時 05 分。

## ⑤ 琴平山(ことひらやま・524m)

やがて幅広の道は終わり、広葉樹の多い雑木林の中の山道になる。ここでも道標は少なく、落ち葉が降り積も



↑ 象頭山山頂

っているが道はしっかりと続いている。登山道からはずれた小ピークに琴平山山頂があった 13 時 20 分。滑りやすい急下降の道をジグザグに降りて 14 時 10 分牛尾口登山口着。大麻山で作業している人らには出会ったが、登山者には出会わなかった。

